

# コケモモ盗掘 — 長走風穴に大きな傷跡

## 保護は1人ひとりの深い理解と愛情で！



何万年もかけて現在の姿をつくりあげてきた自然が、一瞬のうちには壊されてしまったのは大変残念なことです。被害の遭っ

小さなピンクの花と赤い小果実をつけるコケモモの盗掘が発見されたのは今年五月。高山植物保護のため有刺鉄線を張りめぐらせている第一群落地内の六カ所から、土ごとごっそり持ち去られたのです。

### 自然回復困難かも

多くの人から親しまれている国指定天然記念物「長走風穴高山植物群落」から、貴重な高山植物のコケモモが盗掘されました。心ない人によって貴重な高山植物が失われたことは、とても残念なことです。絶対にあつてはならないことです。今回の被害を契機に、郷土の大切な天然記念物が損われることなく、次の世代に引き継がれるよう改めて考えてみたいものです。

た場所にコケモモが回復するには、泥炭質の土を充てんするなど手を加えてやらなければ困難だとも言われています。個人の小さな欲望が、私たちの貴重な財産に大きな傷跡を残してしまつたのです。

### 心のオアシス

#### 保護は自然への愛で

長走風穴地帯は、長走地区北側の国見山(標高四五三・九メートル)中腹から下のほうにあり、地下はレンガぐらいの大きさの岩石が積み重なってできています。頂上付近の吸い込み口から入った空気は対流作用で地下を通して冷やされ、風穴地帯に冷風となって吹き出します。この冷風によって真夏でも一〇度前後の地温が保たれているため、千メートル以上でなければ見られない高山植物が、ここではわずか二百メートルぐらいのところに育っているのです。これからの季節、長走風穴には冷気が漂い、かれんな数多くの



コケモモ

高山植物が咲き乱れます。神々しいまでの生の営みに魅せられて訪れる人たちに、限りないやすらぎや潤いを与えてくれます。昨年からは、札幌市内の中学校の修学旅行コースにもなるなど、多くの人から愛されている長走風穴高山植物群落。その保護は、法律などの規制だけでは達成できません。一人ひとりが自然の仕組みを理解し、自然を尊び、保護しようとする精神が何よりも大切なのです。

### 守ってほしいルール

長走風穴の高山植物といい出会いをするためには、守らなければならぬ基本的ルールがあります。

- ① 風穴地帯の植物は一切採らないこと。
- ② ゴミの投げ捨て・放置はしないで、持ち帰ること。
- ③ 観察のときなど植物を踏みつけないこと。

### ゴミは持ち帰って！



佐々木 ハナさん (長走)

また風穴地帯は、石ころ一つを動かしても風の流れに変化が生じる場合もありますので、注意が必要です。みんなでルールを守り、郷土の大切な天然記念物を後世へ確実に引き継いでいきましょう。

長走風穴の隣に住み五十年近く見守ってきましたが、今回のように悪質な盗掘は初めてです。許せないことです。最近山野草ブームで、自然に親しむ人が増えてきたのはとてもいいことですが、マナーはまだまだです。特にゴミの投げ捨てるの多いこと。高山植物のある上のはさうでもありませんが、下の風穴入口付近には、ところかまわず捨てていきます。ときには観光バスですら車内のゴミを道路脇にドサツと置いていきます。本当に自然を愛する人は、美しいものを平気で汚すはずがありません。植物を観察しながらゴミを拾ってくれている人を見ると、ほっとしますね。